



園芸工学科では、2年生から専門的な3つのコースに分かれて学習します。その中の1つ「**生物工学コース**」では地域の希少植物の増殖・保護活動をはじめバイオテクノロジー技術を使って園芸作物の栽培や活用法について研究・学習をしています。(SDGsの観点)

今回の授業では、地域の花である「テッポウユリ」の生態、名護市の花としての歴史、名物「七曲がりの現状」バイオ教材としての増殖方法を学習しています。校内に咲いている「テッポウユリ」を採取し、花器（つぼみ・めしべ・おしべ）と葉茎を利用した組織培養に生物工学コースの3年生が挑戦しました。



校内のテッポウユリ



調整したユリ（つぼみ）



前処理（洗浄）

POINT ここからはクリーンベンチ内で実験・実習になります。

無菌状態を保つため

- ①器具の殺菌 ②素早い作業 ③高い集中力が試されます。



使用する培地（MS・ホルモン添加等）



消毒液で殺菌・洗浄



花器を開いて器官を切る



培地に置床



完成です

生物工学コースで栽培、研究している植物はテッポウユリの他に 沖縄の野生ラン「ナゴラン」「イリオモテラン」「カクチョウラン」や「デンファレ」「カトレア」などの洋ラン、観葉植物・食虫植物の増殖研究にも挑戦しています。